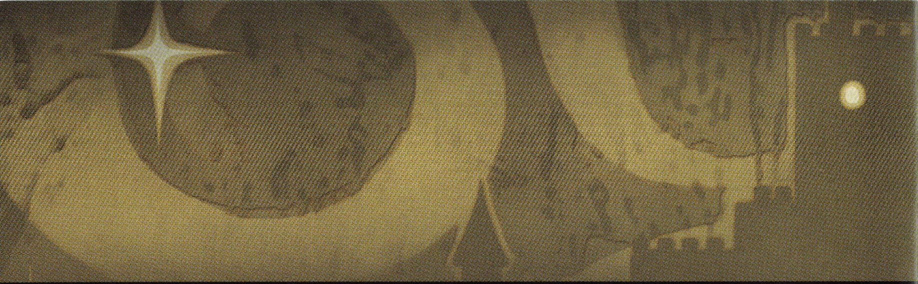
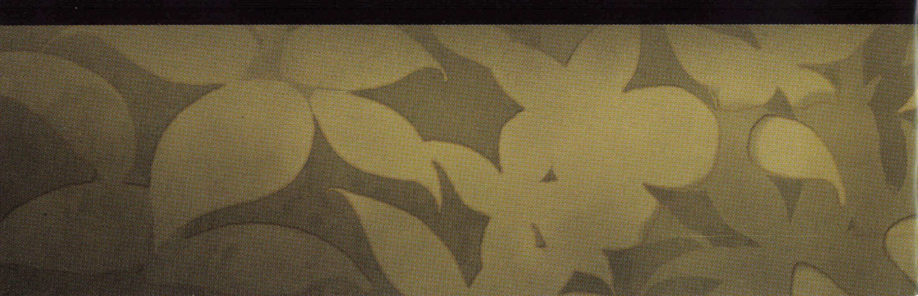

ぎんいろアクアときんいろオバケ
＜文＞鋼屋ジン
＜絵＞津路参汰
ゆーぽん



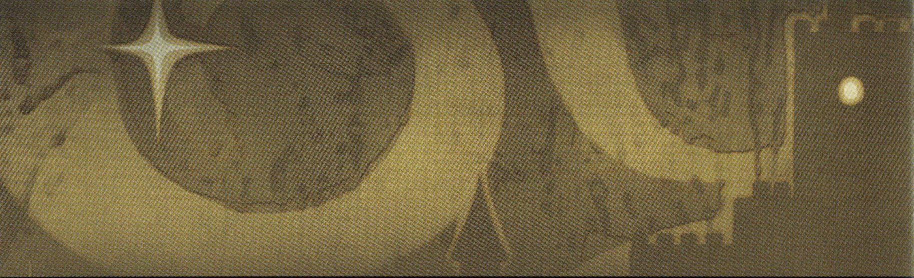
にげろや　にげろ　ぎんいろアクマ(あくま)は

おとこも　おんなも　おとなも　こどもも

ザクリ(ざくり)！　ザックリ(ざっくり)！　みなごろし！







ご機嫌よう！

愚かなる、憐れなる、脆弱なる、人類諸君！

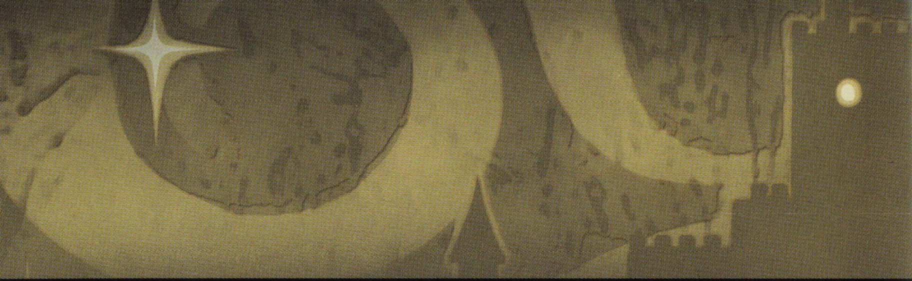
この地は、すでに余の手中に落ちた！

さあ！　これより暗黒の歴史が、

如何なる夜よりも冷たく、諸君を包みこむ！





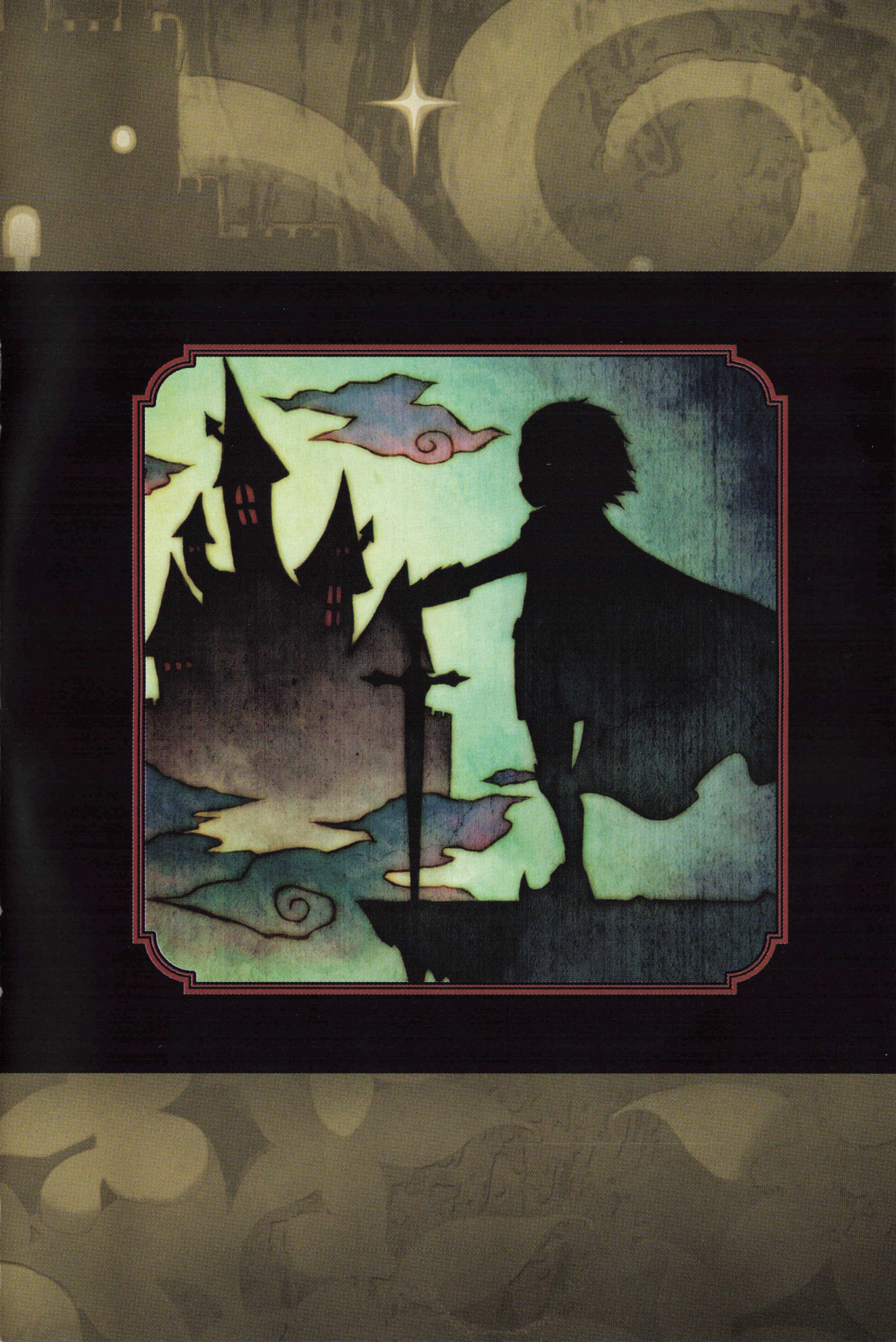


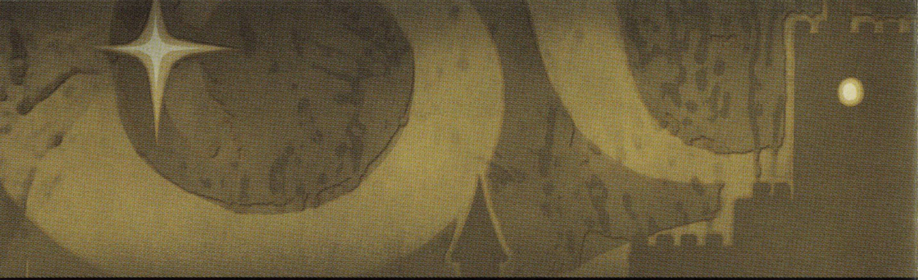
人々は嘆き悲しみました。

しかしあるとき、ひとりの英雄が

お姫様を救うため　竜に戦いを挑みました。









「子守歌代わりに寝物語は如何かな？」

「たとえば……そうだな、こんな……」






クラスメイトの少女から殺意を告白された少年
クラスメイトの少年を殺そうとしている少女



ホワイト・ドラゴン



防衛隊第17師団
（通称『対竜機甲師団』）の
師団長

竜†恋[Dra+KoI]



2006年2月に発売されたアミューズメントディスク『サバト鍋』に収録されていたミニADV。ドラゴンが実在する現代日本を舞台に繰り広げられるハイテンション・ラブコメディ。脚本は『デモンベイン』の“鋼屋ジン”。原画は『スマガ』の“津路参汰”が担当。ミニゲームでありながら、劇中のBGMとして6曲ものボーカル曲を使用して演出を試みた意欲作。



LINER NOTES

音だけで創られた世界。声だけで語られる物語。
それは決して、単なる「絵のないゲーム」や「絵のないアニメ」ではありません。
そこにはきっと、音だけで創る意味があり、声だけで語る意味がある。
「かくあれかし」と声が語り、かくして世界はかくの如く在るのだから。

たとえば、子守歌代わりに寝物語は如何？
そっと枕元で囁かれる、おとぎばなし。
眠りを誘うために瞼は閉じて。語りを遮らず、静かに耳を傾けて。

たとえば、少年と少女の語らいに聞き耳を立ててみよう。
とりとめのないお喋り、たまには痴話喧嘩。
ばれないように物陰越しに。
物音は立てず、静かに耳を傾けて……少しばかり悪趣味だけどさ。

つまりはそんな内容なのです。
だから大振りな仕草は必要ない。
派手に着飾る必要もない。
まぁ驚かしや賑やかしに、大きな音を立てたりはするかもだけど。
とにかく、そんなシンプルなやり方で語る。
語らう。

そうやって創られた世界がどんなものなのか、語られた物語にどんな意味があるのか。
それは聞いてくれたあなたの心の内に……なんて、お決まりの文句でお茶を濁しつつ。

鋼屋ジン

CAST

田中涼子

阪口大助

こおろぎさとみ

STAFF

企画制作：Nitroplus
脚本：鋼屋ジン
楽曲プロデュース：ZIZZ
録音演出：ひろH
エンジニア：西本宏
収録スタジオ：AZスタジオ
編集：山本秀史
キャスティング：H.B STUDIO
進行：ニトロくん
ジャケットイラスト：津路参汰
ブックレットイラスト：津路参汰
ゆーぽん
彩色・仕上げ：Dr.ようかん
ジャケットデザイン＆アートワーク：ぺはら塗装
DTPデザイン：Mzk
スペシャルサンクス：もえら
ck
WAYUTA
柏木章俊
kokobass

©2005-2007 Nitroplus



──貴方は、私に、殺されるのよ、魔王？


ぎんいろアクマときんいろオバケ